

アムラシュの世界

1960年代、欧米の古物市場に突如として、特異な造形の土器や土偶、青銅器が現れました。これらは出土地とされる地名から「アムラシュ遺宝」とよばれ世界中の博物館や蒐集家の注目を集めました。その後の調査により、「アムラシュ」は盗掘品の集散地であること、「遺宝」には鉄器時代(約3千年前)からパルティア・ササン朝の文物が含まれていることがわかりました。

なかでも鉄器時代の形象土器は、高度な精神文化の存在をうかがわせ、「アムラシュ美術」として高く評価されています。またパルティア・ササン朝の文物の中には正倉院宝物類品などが含まれ、当時のシルクロード交易に思いを馳せるものです。

本展では四国村コレクションのうち、当時「アムラシュ遺宝」とよばれたカスピ海南西岸(イラン北西部)出土と考えられる土器を中心に展観、その特異な造形世界の謎に迫ります。

イラン山岳地帯の造形展



地母神像
イラン北西部 前8-前6世紀



異形土器
イラン北西部 前1200-前600年



嘴形注口足付土器
イラン北西部 前8-6世紀



牛形象土器
イラン北西部 前1200-前600年



青銅製鹿小像
イラン北西部 前1200-前600年



金製高杯
イラン北西部 前1千年紀前半
中近東文化センター附属博物館 蔵



聖樹双獣文杯
イラン北西部 前1千年紀前半
中近東文化センター附属博物館 蔵

2011年4月23日(土) >> 6月30日(木) 会期中無休

会場：四国村ギャラリー 開館時間：9:00~17:00(入館は閉館時間の30分前まで)

企画展入村料
()内は企画展前売券
一般 1,200円(1,100円)
高校生 700円(600円)
小中学生 500円(450円)
幼稚園児以下無料

前売券発売所：高松・天満屋

問合せ 公益財団法人四国民家博物館
〒761-0112 香川県高松市屋島中町91
電話:087-843-3111(代)
HP <http://www.shikokumura.or.jp>

交通アクセス
お車で
高松自動車道高松中央ICより北へ8km約15分
志度ICより西へ約20分/JR高松駅より東へ約20分/
高松空港より北へ約40分/鳴門ICより西へ約50分
無料駐車場:バス5台・普通乗用車200台
電車で
新大阪→高松約2時間
JR高徳線屋島駅下車 徒歩10分
ことでん志度線ことでん屋島駅下車 徒歩5分
飛行機で
東京→高松 約1時間15分

